



天碗
らつち長火
ふ教



右上/会津本郷は古くから陶磁器の製造が盛んだった。東北最古の焼き物の里だ。蒲生氏郷に始まり、江戸時代は会津藩の御用窯。現在は窯元が14軒あり、町には風情ある景観が残っている。右下/煙突が残る古くからの窯元。左/町を流れる川沿いにも窯元の工房があった。

酒の高田と陶器の本郷、
二つの宿場が栄えた町

会津美里

あいづみさと 福島県会津美里町

四

の魅力は日帰りでも通過しただけではわからない。宿場町の朝夕の風景も忘れがたく、時間があれば、ぜひ宿泊をお勧めしたい。

戊辰戦争に敗れるも
今なお会津魂は不滅だった

大内宿からさらに北に向かい、会津平とも呼ばれる会津平野に下りてきた。その南に位置するのが会津高田、会津本郷の二つの宿場町があった会津美里町である。会津本郷は焼き物の町。「にしん鉢」の受賞で会津



本郷焼を一躍有名にした「宗像窯」など古くからの窯元が残っている。窯元が点在する町の路地歩き、ショップで焼き物を探す楽しみもある。

そしていよいよ旅は会津藩の城下町、会津若松に入る。七日町通りと野口英世青春通りが交差する、大町一之町の四つ角が江戸時代の「札の辻」。南山通り(下野街道)、白河街道、越後街道、二本松街道、米沢街道の会津五街道の起点。つまり、ここが会津西街道の終点である。

戊辰戦争で敗れ、城下が灰燼に帰



「にしん鉢」で会津本郷焼を世に知らしめた伝統の窯元 宗像窯

享保3年(1718)より、神官の傍ら焼き物作りを始めたという歴史を持つ。昭和33年(1958)、六代目豊意がブリュッセル万国博覧会で「にしん鉢」によりグランプリを受賞。会津本郷焼の名を一躍有名にした。八代目当主の利浩さんは天目茶碗を作り続け、その成果が代表作「利鉢」になった。息子さんの利訓さんと作陶に励む。

むなかたがま
福島県大沼郡会津美里町字本郷上甲3115
TEL:0242-56-2174
営業時間:9:00~17:00
定休日:水